



会津医療センターから こんにちは！



【34】

鍼灸研修生
津田 恭輔

『現代医学と鍼灸医学』

2018年4月から会津医療センターで鍼灸研修生として働いています。突然ですが、みなさんは鍼灸治療をご存じでしょうか。普段はあまりなじみのない治療だと思います。鍼（はり）？！刺すの！？痛そう！お灸？熱そう！！！と思うかもしれません。

しかし、実際の鍼灸治療で使用するのは髪の毛ほどの太さの鍼で、注射の時に用いるような針とは全く異なります。初めて鍼灸治療を受けられた方は、まず痛くないことに驚かれます。お灸（きゅう）は、暖かいお灸からチクッと熱いお灸までさまざまです。

鍼灸治療は、そのような鍼や灸を用いて体に刺激を与えることで起きる生体反応を利用した治療であり、近年多くの研究から、さまざまな疾患や症状に対して有効であることがわかってきました。

さて、当センターの鍼灸研修生がどのようなことをしているのか、少しだけ紹介させていただきます。鍼灸研修の1年次は、臨床研修医の先生方と同様、附属病院の各診療科で研修します。経験豊富な先生方から問診や身体診察など基本的な診察から治療、また各専門分野の先端医療まで指導を受けます。2年次以降の研修は、1年次の研修経験と知識を自分の専門分野である鍼灸診療に活かし、専門性をさらに高めていく期間です。必要な知識や技術は膨大で、文献を読み、先生方に指導を仰ぎながら皆さまが安心して鍼灸治療を受けられより良い治療効果が出せるよう、日々勉強し診療や研究に励んでいます。

研修の中で、患者さんが「鍼灸治療がこんなに効くとは思わなかった！」と笑顔で言ってくださいました。学んだことを患者さんに届けられたと思えた瞬間です。その笑顔が私の励みとなっています。

当院で研修を始めて早くも2年が経とうとしています。まだまだ修行中の身ですが、4月からは一步ステップアップし後期鍼灸研修生となります。みなさまを笑顔にし、健康に役立てるよう、これからも精一杯頑張ります。